

各 位

病害虫発生予察技術資料(第2号)について

病害虫防除所長

平成18年度病害虫発生予察技術資料(第2号)を送付します。

高知県版BLASTAM(AMeDASデータを用いた葉いもち感染予測システム)の結果について

本年は、5月2、3半旬に一部地域でBLASTAMによる感染好適条件が散見されましたが、天候の回復により連続しませんでした。その後、5月6半旬、6月2、3半旬と同様に一部の地域で感染好適条件が見られました。しかし、今回6月16日～18日にかけて、県内各地で感染好適条件が出現しました(第1表)。

連続して好適条件が広い地域で出現した場合、普通期稲については、通常それから約1週間～10日後に、広域に葉いもちの初発生が認められるようになります(全般的初発生時期)。さらにこの全般的初発生時期から約1週間～10日後に、発病の増加が始まります(発病増加開始期)。特に箱施用剤等での防除を行っていないほ場では、葉いもちが多発生する可能性があり、通常、この時期が液剤等による防除適期となります。早期稲においても、6月20日巡回調査において県中央部で葉いもちの発生が認められています。葉いもち発生地帯では、出穂期防除に穂いもち対象剤を加えるなどの対策が必要となります。

第1表 高知県版BLASTAMによるいもち病の感染好適条件の6月19日の判定結果

日付	本 川	本 山	大 杵	高 知	後 免	安 芸	檮 原	須 崎	窪 川	室 戸 岬	江 川 崎	佐 賀	宿 毛	中 村	足 摺	日付
6月9日	—	—	●	—	—	—	④	—	—	—	④	—	—	—	—	6月9日
6月10日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6月10日
6月11日	③	①	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6月11日
6月12日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6月12日
6月13日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6月13日
6月14日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6月14日
6月15日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6月15日
6月16日	—	④	—	—	—	—	—	—	●	—	●	④	●	—	—	6月16日
6月17日	④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	6月17日
6月18日	—	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	—	●	—	6月18日
6月19日	?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6月19日

<用語説明>

好適条件(●)：

葉面湿潤条件が充分で、湿潤時間中の平均気温が15～25℃、前5日間の平均気温が20～25℃であり、葉いもちの大量感染に好適な気象条件が出現した場合。

準好適条件(①～④)：

葉面湿潤時間は充分であるが、その他の条件が一部不足している場合。これが続いても発病が始まるので注意が必要。

＊移植20日後程度までの好適条件の出現は、いもち病菌の感染に無効であり、BLASTAMの適用開始時期はそれ以降とする。